

令和 6 年能登半島地震 第 7 回災害支援ボランティア募集要項

令和 6 年能登半島地震災害支援ボランティア募集説明会にご参加ありがとうございます。

この活動に応募をされる方は、活動趣旨、活動内容、注意事項等を十分に理解した上で応募をお願いします。

1. はじめに

2024 年 1 月に発生した令和 6 年能登半島地震は、石川県で震度 7 の揺れが観測されるなど、北陸を中心に大きな被害をもたらしました。また同年 9 月には豪雨災害も発生し、奥能登地域では 1 年で 2 度も大災害に見舞われる事態となりました。昨今はマスコミ等での報道は減少していますが、ボランティアの応援が求められている場はたくさんあります。ボランティアが全国から駆け付け、懸命に活動する姿は、被災者の方にとって大きな励ましとなると考えます。

今回は実際に現地を訪問し、能登の方々の力になれる活動をしたいと思います。能登の方々に寄り添い、主体的に活動を進める事が出来る皆さんの参加をお待ちします。

2. 活動趣旨/目的

テーマ：共に復興を目指す応援団になる。～広げる関心、つなぐ想い～

- ①実際に能登の被災現場に赴き、ボランティア活動を行う
- ②このボランティア活動を通して、災害について考え、共に復興を目指す応援団になる
- ③報告会で自らの経験や想いを語り、能登半島地震への興味関心を喚起し、応援団の仲間を増やす

3. 参加要件

- ①本学に在学する学生（学部生・短期大学部生）であること
 - ②集合場所から解散場所まで同一行動をとること
 - ③保証人（保護者等）の参加同意を得ること（参加誓約書および同意書を提出）
 - ④引率者の指示に従った行動をすること
 - ⑤オリエンテーションや活動報告会等にも参加すること（※授業と重なっている場合は別途対応）
- ※全てを満たす必要があります。なお、授業免除等はありません。授業（サマーセッション等）に支障が無いように参加してください。

4. 日程

- ボランティア活動 2026 年 3 月 5 日（木）～3 月 8 日（日）3 泊 4 日
- 事前オリエンテーション 2026 年 2 月 9 日（月）13:00～16:00
- 事後ふりかえり＆報告会準備 2026 年 3 月 16 日（月）14:00～16:00
- 活動報告会 2026 年 4 月中で調整

※原則全日程の参加を求めます（授業の場合を除く・卒業年次生応相談）。

5. 活動場所

石川県珠洲市・輪島市・志賀町・能登町（予定）

6. 活動スケジュール(予定)

日	主な予定	食事			宿泊地
3/5(木)	深草キャンパス（8:00）～京都駅八条口（8:15）～【車内で交流等・途中で昼食休憩】～志賀町富来での活動～宿舎（17:30 頃）到着後、ふりかえり・サロン活動準備	朝	昼	夜	石川県能登町
		／	×	○	
3/6(金)	珠洲市にて復興支援活動/視察・活動ふりかえり（仮設住宅でのサロン活動/珠洲市視察）	朝	昼	夜	石川県能登町
		○	○	○	
3/7(土)	能登地方にて復興支援活動/視察・活動ふりかえり（現在調整中）	朝	昼	夜	石川県能登町
		○	○	○	
3/8(日)	能登地方での活動/昼食～【バス車内で活動ふりかえり】～京都駅経由深草キャンパス（19:00 頃）	朝	昼	夜	／
		○	○	／	

※今後の状況によって変更の可能性有。天候等で変更が生じたり中止となる可能性があります。

7. 活動内容

○ボランティア活動

- ・仮設住宅入居者等の地域の方との交流活動
- ・海岸清掃 等

○被災地視察

- ・珠洲市内被災地域
- ・その他能登地方被災地域 等

○その他

- ・能登の被災状況について、現地の方々から各所でお話を伺います。
- ・毎晩のふりかえり（活動を通した気づきについて語り合い・共有）

※ボランティア当日まで活動内容は確定しません。

活動する時点の天候や地域住民からのニーズによって、活動内容が変わります。

※立ち入り規制のあるような危険な場所には行きません。

8. 活動時の服装

センターが用意するビブスの着用必須。原則長袖・長ズボンで汚れてもよい服装で参加する事。

活動内容によってヘルメットや長靴等の着用を求めます。（詳細は参加確定者に連絡）

9. 移動手段

全行程中型バス（京都-宿舎間と現地行程部分でバス乗り換え予定）

※現地の状況によってマイクロバスに変更になる可能性有。

10. 宿泊場所

黒川温泉セミナーハウス山びこ（石川県鳳珠郡能登町黒川 33-6）

※ホテルのような宿泊施設ではありません。民宿のような研修施設です。

※参加者は男女別の相部屋での宿泊となります。

11. 参加費

10,000 円

※証明書発行サービス（オンライン申請）で2月9日(月)までに入金/詳細は参加確定者に連絡

※自己都合による参加費支払い後のキャンセルの場合、返金不可。

12. 参加費に含まれるもの

- ・ 集合場所から現地能登間の交通費、宿泊費、スケジュール記載の食費、ボランティア保険、現地各プログラム経費等

※参加費の不足分は大学が負担しています。

※日本財団の共催で実施します。

13. ボランティア保険

ボランティア保険『天災プラン B』にセンターが加入。

※すでに今年度加入済の方は申し出てください。

14. 募集定員

合計 17 名

【一般参加 15 名＋リーダー参加（第 1～6 回の活動に参加した学生の中から選考）2 名】

15. 選考方法

応募者多数の場合、選考となります。

以下の内容を申込みフォームに記入。その内容を基に選考。

○参加を志望する理由（200～400 字）

○サロン活動で取り組んでみたい活動とその理由（字数制限なし・適正な字数にて）

※自身でサロン活動とは何か、どんな事例があるのかを調べ、柔軟に考えてみてください。

16. 応募受付

受付期間：1 月 9 日（金）～1 月 22 日（木）16：00 まで

応募方法：Google フォームから応募

※フォームの送信後、入力内容のコピーが自動で届きます。

届かない場合はセンターへ問い合わせてください。



17. 選考結果

1 月 30 日（金）13：00 メールおよびポータルサイトにて連絡

※その後の手続きや連絡手段についても案内しますので、必ず確認してください。

期日までに確認が取れない場合、キャンセルとみなしますので、ご注意ください

18. 誓約書・同意書の提出について

参加確定者には「令和 6 年能登半島地震災害支援ボランティア誓約書・保証人同意書」を

2 月 9 日（月）の事前オリエンテーションの際に提出をしてもらいます。

誓約書・同意書は選考結果案内の際に送付します。

19. 活動報告会

ボランティア参加者で日程調整し、4月下旬～5月中旬に活動報告会を実施します。
活動を通じた気づきや、感想などを報告し、方法は後日参加者間で相談して確定します。
授業を除き原則参加です。

20. 参加にあたっての心構え

- ① 挨拶は自分から積極的に！
- ② 被災者主体のボランティア活動です。地元の人達の気持ちに寄り添って活動する。
- ③ 効率だけではなく、コミュニケーションを大切に。
- ④ 自分勝手な行動はせずに、チームで作業する。
- ⑤ 写真はプライバシーに配慮する。
- ⑥ 危険なことや、出来ないことはハッキリと断る。
- ⑦ 無理して頑張り過ぎず、休憩をとる。また体調が悪いときには、引率者に申し出る。
- ⑧ ボランティアだからといって、必ず歓迎されるとは限らない。
- ⑨ ふりかえりでは、仲間の声を聴き、自分の意見もしっかりと語る。
- ⑩ 活動に参加後、精神的に興奮したり落ち込みを感じることもあるかもしれません。休息を取り、一人で抱え込まずに信頼できる人に相談するようにしましょう。

21. 参加にあたっての注意事項

- ① 寒い時期の活動になる事を理解して応募する事。
- ② 道路状況が悪いため、乗り物酔いしやすい人は各自対策する。
- ③ 食物アレルギーに対応した食事は用意できないので、自身の事は自身で管理。
- ④ 活動中の服装などのルールはしっかりと守る。
- ⑤ 再び大きな地震が起こる等、活動が安全に遂行できないと判断した場合は中止になる可能性有。

22. 連絡先

龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター

【深草】京都市伏見区深草塚本町 67 TEL 075-645-2047

【瀬田】大津市瀬田大江町横谷 1-5 TEL 077-544-7252

【連絡先アドレス】ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

【担当者：吉田・國實】

以上